

「地方創生☆政策アイデアコンテスト2017」の開催について

平成29年6月13日

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

内閣府 地方創生推進室

データに基づく地方創生の取組を推進するため、今年度も、RESAS を活用して地域を分析し、地域を元気にするような政策アイデアを募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を開催します。高校生・中学生以下の部と大学生以上一般の部の2部門に分けて開催し、全国7つの地域で地方予選を実施します。地方予選を通過した組の中から、全国第一次審査を経て、最終審査会を行い、地方創生担当大臣賞及び優秀賞を選出します。

1. 開催概要

データに基づく地方創生の取組を推進するため、今年度も、「地域経済分析システム（RESAS:リーサス）」を活用して地域を分析し、地域を元気にするような政策アイデアを募集する「地方創生☆政策アイデアコンテスト」を開催します。過去のコンテストの政策アイデアの中から、実際に具体的な取組につながっている例も出てきています（別紙参照）。今回も、地域を元気にする皆様の政策アイデアをお待ちしております。

2. 募集内容

あなたが暮らす、または、ゆかりのある地域の現状・課題について RESAS を使って分析し、解決策となるような政策アイデアについて、必ず以下の内容を入れてご提案ください。

- ① RESAS による分析（現状・課題認識）
- ② RESAS による分析に基づき、考えられる政策アイデア（解決策の提示）

【政策アイデアの例】

- ・ 地元の地域経済を〇〇産業で元気にする
- ・ 地域への移住者を〇〇で増やす
- ・ 地域に新たな〇〇産業を生み出す
- ・ 〇〇で地域の住環境を改善し、人口減少・少子高齢化を解決する 等

3. 募集区分

- ①高校生・中学生以下の部、②大学生以上一般の部、2つの部門に分けて募集します。

4. 審査基準

1. RESAS を十分に活用しているか
2. RESAS に限らず、分析・提案に必要なデータや情報を利用しているか
3. データに基づき、地域の現状や課題を十分に捉えているか
4. 政策アイデア企画の際に、独自の考えを盛り込んでいるか
5. 地域の将来の潜在的な可能性についての視点があるか
6. 実現に向けた、現実的で前向きな提案となっているか

5. 審査プロセスと表彰

全国7地域で地方予選(書類審査)を実施します。地方予選を通過した組の中から、全国第一次審査(書類審査)により、最終審査会に進む10組を決定します。最終審査会でのプレゼンテーション審査を加味した上で、各部門の地方創生担当大臣賞及び優秀賞を決定します。

6. 開催スケジュール(予定)

応募受付期間	: 平成29年 9月上旬～10月下旬
地方予選期間	: 平成29年10月下旬～11月中旬
全国第一次審査期間	: 平成29年11月中旬～11月下旬

7. 最終審査会(予定)

日時 : 平成29年12月中旬

会場 : 東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール(定員400名)

8. 応募方法

提案資料は電子データで20ページ以内にまとめていただき、コンテストサイト内の応募フォーム(9月頃開設予定)よりご応募ください。昨年度ファイナリストのプレゼンテーション資料を昨年度のコンテストサイト(<https://contest.resas-portal.go.jp/2016/>)でご覧いただけますので、応募の際の参考にしてください。

<参考> 昨年度のコンテストの結果 ※応募総数 **699件**(全都道府県より応募あり)

高校生以下の部(応募数 213件)	大学生以上一般の部(応募数 486件)
【地方創生担当大臣賞】 長野県松本県ヶ丘高等学校 内田 佑香、横山 瑠奈「長野県の負のスパイラル大問題!!「昆虫食」で解決します!」 【優秀賞】 愛媛大学附属高等学校 佐藤 瞳「マインドから変える地方創生～私が考案した地方間交流型フィールドワークの可能性～」	【地方創生担当大臣賞】 岡 祐輔(福岡県糸島市)「糸島版マーケティングモデルで地域産業のやる気も出る～福岡県糸島市に新ブランドを創出し、地域経済を豊かにする～」 【優秀賞】 小樽商科大学 大津ゼミ「岩内町 超積極戦略で“稼ぐ力”をパワーアップ」
【その他ファイナリスト】 ・山形県立村山産業高等学校 農業部 バイテック班 ・福島県立ふたば未来学園高等学校 佐藤 勇樹 ・山口県立周防大島高等学校 土井 望愛、正木 公次郎	【その他ファイナリスト】 ・株式会社八十二銀行 法人部 地方創生プロジェクトチーム ・株式会社ビジネスクロス 千葉県銚子チーム ・鹿児島信用金庫かしん経営大学 鹿児島チーム

開催スケジュールや募集要項等の詳細につきましては、7月頃にコンテストのサイト上で公表する予定です。

【コンテストサイト】 <https://contest.resas-portal.go.jp/2017/>

【お問い合わせ先】

内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局、内閣府 地方創生推進室
担当 浜村、堀口、河西 電話 03-3581-4541

コンテストの政策アイデアが具体的な取組につながっている事例

過去のコンテストの政策アイデアの中から、実際に具体的な取組につながっている事例が出てきています。

2016 高校生以下の部 地方創生担当大臣賞

長野県松本県ヶ丘高等学校 内田 佑香、横山 瑠奈

「長野県の負のスパイラル大問題！！「昆虫食」で解決します！」

政策アイデアの実現に向け、県の試験研究機関による共同分析が予定されている

- 長野県知事を表敬訪問し、受賞について報告(2017年2月)。
- 実際に「昆虫食」の商品化を検討するため、長野県工業技術総合センター(長野県産業労働部の現地機関)内の「しあわせ信州食品開発センター」が、共同で栄養価分析を実施予定(2017年6月)。



コンテスト後、しあわせ信州食品開発センターを訪問

2016 大学生以上一般の部 地方創生担当大臣賞

岡 祐輔(福岡県糸島市)

「糸島版マーケティングモデルで地域産業のやる気も出る
～福岡県糸島市に新ブランドを創出し、地域経済を豊かにする～」

政策アイデアが、実際に市のマーケティングモデル推進事業として始動した

- 2016年度より試行している「糸島市マーケティングモデル推進事業」において、岡氏の提案である糸島市産品の販路開拓や広告宣伝、商品開発の一体的実施が実行され、第一弾商品「JF 糸島ふともずく」が発売(2017年4月)。福岡県内の企業や高校と連携し、販路開拓や広告宣伝を推進していく。
- 今後、マーケティング要素毎に様々な主体とコラボレーションを行っていきつつ、糸島市産の様々な食品についてのマーケティングを順次進めていく。



市・高校生・生産者で営業・販売先の検討ワークショップを実施